ビジョンが見える **U-50限定**

HOKKAIDO'S NEXT AGRICULTURE

募集開始!!

第2回★★★★★★★★★★

北海道次世代農業サミット

私の農業の未来の可能性を考えてみよう

《コーディネーター》
岩井 宏文
株式会社GB産業化設計

大塚 早苗
有限会社大塚ファーム

日時 2019年
12/4 水
13:30~19:00
(交流会 19:00~21:00)

場所
ホテル札幌ガーデンパレス 2F
北海道札幌市中央区北1条西6丁目 TEL. 011-261-5311

参加費 無料(懇親会費 5,000円) **定員** 150名

※50歳未満の農業者(経営者・後継者・従業員等)対象。50歳以上の農業者、他関係者は観覧のみ

PROGRAM

- 同世代農業経営者の講演
- 参加者グループディスカッション
- パネルディスカッション

PANELLISTS

(株)鈴生
鈴木 貴博 氏

前田農産食品(株)
前田 茂雄 氏

(株)Kalm 角山
川口谷 仁 氏

えづらファーム
江面 暁人 氏

(株)GB産業化設計
岩井 宏文 氏

(有)大塚ファーム
大塚 早苗 氏

主催:北海道農業法人協会　共催:北海道農業法人化等支援協議会　後援:日本政策金融公庫

お問い合わせ:北海道農業法人協会事務局　〒060-0061 札幌市中央区南1条西10丁目3番 南一条道銀ビル4F
TEL:011-233-0145　FAX:011-233-0133　jimukyoku@h-agri.jp

パネルディスカッション登壇者プロフィール

株式会社 鈴生

鈴木 貴博 氏（静岡県）

1976年静岡県生まれ。大学卒業後、2年間の農業研修を経て2002年に25歳で就農。大手コンビニエンスストアや大手ファストフード店等と契約を結ぶなどして業務を拡大し、2008年に株式会社鈴生を設立。2014年静岡県磐田市に、モスフードサービスとの共同出資により(株)モスファームすずなりを設立し、代表取締役に就任。2018年NEXCO中日本と連携し、耕作放棄地の活用によりレタス・枝豆などの生産・販売を行うことを目的として「中日本ファームすずなり株式会社」設立。大消費地へ野菜を配送するための運送会社STMエクスプレス株式会社を設立と多面的な活躍をする経営者。

前田農産食品 株式会社

前田 茂雄 氏（本別町）

1974年生まれ。東京農業大学農業経済学部卒業後、米国大学にて農業経営・流通を学び、現地農家で大規模農業実習を体感。2000年に実家の前田農産食品合資会社に就農、主要生産物は小麦5品種・甜菜・ポップコーン。農閑期＝付加価値創造期間として活かす付加価値型経営を目指す。2012年、季節変動性ある農業収入の多角化と雇用平準化、新畑作輪作体系確立のためポップコーン栽培を開始。2016年4月より国産初の電子レンジ専用「北海道十勝ポップコーン」を商品化。

株式会社 Kalm 角山

川口谷 仁 氏（江別市）

「経営は顧客創造」日本で初の搾乳ロボット8台を設置したメガロボットファームを設立。酪農におけるJGAP認証第1号取得と常に挑戦し続ける。1972年生まれ。東京都出身、白鷗大学経営学部卒業後中小企業向けノンバンクに5年間勤務。その後妻の実家を継ぎ20頭の酪農家としてスタート。2014年（株）Kalm角山設立、2019年代表取締役兼CEO就任、農場HACCP／JGAP指導員。

えづらファーム

江面 暁人 氏（遠軽町）

1979年生まれ。法政大学卒業後は都内の人材系一部上場企業に企画営業職として入社し、数年で十数名のチームのマネジメント業務も兼務。30歳を目前に北海道での新規就農へと挑戦し、2012年「えづらファーム」として独立。約40haの家族経営ながら、農業や農村の魅力発信に取り組むべく農家民宿の経営、農業体験、ボランティア、企業研修の受入れ事業などを行い、人口600人の過疎地域に国内外から年間600人以上の交流人口をもたらしている。

申 込 欄

農場名（会社名）		役職	
お名前		年齢	
連絡先電話番号			
ご住所			
業種	稲作 ・ 畑作 ・ 園芸 ・ 酪畜養豚 ・ その他（ ）		
交流会	参加 ・ 不参加	売上	円

※売上はグループディスカッションのグループ分けの参考にさせていただきます。　※懇親会の会費は、当日受付にてお願いいたします。

北海道農業法人協会事務局まで、FAXまたはメールにてお申し込みください。

FAX：011-233-0133　メール：jimukyoku@h-agri.jp お申し込み〆切：2019年11月14日（木）